

シンポジウム:マルク・リシールの現象学
『マルク・リシール現象学入門 サシャ・カールソンとの対話』をめぐって

日時:2023年11月25日(土)・26日(日)

場所:東北大学文科系総合研究棟 201 教室(控室 203 教室)

11月25日(土):9:20-17:20

11月26日(日):10:00-17:00

9:20-9:30 シンポジウム趣旨説明

- ① 9:30-10:30 澤田哲生「マルク・リシールの現象学:『対話』と各主著をめぐって」
- ② 10:30-11:30 長坂真澄「シェリングからリシールへ——積極哲学の弁証法的運動」/司会:松葉祥一
- ③ 11:30-12:30 池田裕輔「マルク・リシールの哲学はどのような意味で現象学的なのか? ——リシールとフッサール」/司会:長坂真澄

12:30-13:30 休憩

- ④ 13:30-14:30 塩飽千丁「精神分析的な心理療法の経験からみた自覚する意味」/司会:池田裕輔

14:30-15:10(若手の部) 倉品有佳「認識論的判断に基づく「世界」の理解について ——『カント政治哲学講義』におけるアーレントの政治的判断力の考察——」/司会:澤田哲生

15:20-17:20 全体討議/司会:澤田哲生

- ⑤ 10:00-11:00 小倉拓也「超可能性と超受容性 ——マルディネとリシール」/司会:松葉祥一

- ⑥ 11:00-12:00 勝田岬「マルク・リシールと現象学的な『パルメニデス』解釈」/司会:小倉拓也

12:00-13:00 休憩

- ⑦ 13:00-14:00 松葉祥一「現象学的共同体の可能性と限界:リシールのメルロ＝ポンティ批判」/司会:勝田岬

14:00-14:40(若手の部) 長島慧治「生成する知性の探求:ジャン・ピアジェのエピステモロジー紹介」/司会:澤田哲生

14:50-17:00 全体討議/司会:澤田哲生

主催:東北大学教育学研究科人間形成史・人間形成論分野、科研(基盤C, 19K00029)、東北現象学サークル。

開催方式:ハイフレックス方式。オンラインでの出席を希望される方は、東北現象学サークル(<https://tohoku-phenomena.group/>)「研究大会」の欄をご覧ください。

連絡先: tetsuo.sawada.e3@tohoku.ac.jp もしくは東北現象学サークルお問い合わせフォームからご連絡ください。